

55 組立部材を想定した木質面材料の 釘接合部の強度性能を解明



Webページ

技術のポイント

中・大規模木質構造物の壁や床、はり・桁などには、木材に木質面材料をくぎで接合した組立部材を用いるケースが増えると考えられます。そこで、木材と面材で構成される種々のくぎ接合部について、それらの強度性能を明らかにするための実験を行いました。実験結果を分析し、組立部材の強度性能推定のための基礎データとなるくぎ接合部の力学的特性値を明らかにしました。

連携・橋渡しの方向

木質材料の軸材と面材とをくぎで接合した組立部材を新たに考案する際に、基礎となる情報と知見を提供します。既存部材や接合部の強度性能向上を目指している方との連携を希望します。

詳細情報

- 研究成果：<https://www.ffpri.affrc.go.jp/research/saizensen/2018/20180824-03.html>
- 論文等：木材学会誌，64(4)，139-148（2018）

担当者

構造利用研究領域・野田康信

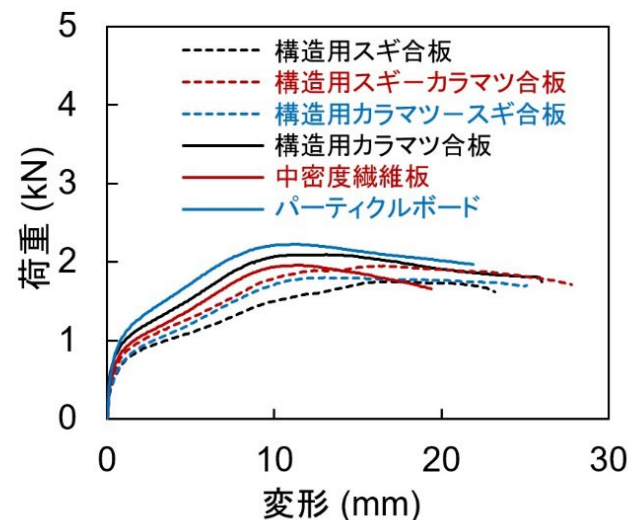


図1 くぎのせん断性能を調べる試験の様子と試験結果の一例
日本ツバイフォー建築協会が定める接合部の試験を実施し、荷重と変形の関係を測定しました。この試験結果から力学的特性値を明らかにしました。

■ 謝辞

本研究の一部は、(国研)森林研究・整備機構森林総合研究所交付金プロジェクト「非住宅木造建築における釘接合部の高耐力化に関する研究」(課題番号:201713)により実施しました。

森林産業実用化カタログ2025



お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: sangaku@ffpri.affrc.go.jp

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>